



麻生地区のまちづくりを理解し、応援してくれる人たち。音楽家やテレビディレクターなど、麻生総合センターの取り組みに賛同して、PR活動や魅力づくりに協力している心強い味方です。

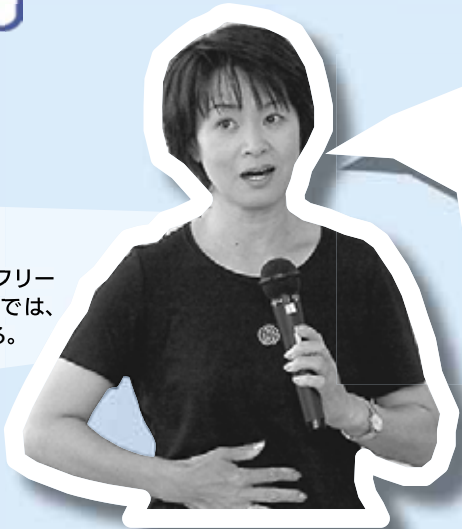
「ASABU塾」は、スタッフの皆さんが、活動PRのために、オリジナルの名刺や名札を作るなど、面白い企画がいっぱい！

少しでも、地域の方々のお力になれば、うれしいです。



おがたなおこ
尾形尚子さん

札幌デジタル専門学校非常勤講師。北老人福祉センターでパソコン教室の講師を務める。また、「ASABU塾」のスタッフが事業PRを行うために作成する名刺や名札のデザインを担当している。



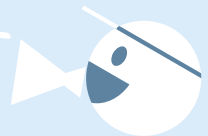
こいづみえみこ
小泉笑美子さん

ミュージッククリエーション代表・フリーアナウンサー。「ASABU塾」では、国語の時間の講師を担当している。

講義を受けていただいた皆さんが、「ASABU塾」の活動に、とても大きな期待を持っていることを実感しています。

楽しく、ワクワクするようなプログラムで多くの人たちの心が躍ること、間違いなしですよ！

フレイフレイ
あさぼ



みんなで
あさボラ
(麻生ボランティア)
しませんか

「あさボラ」は、「さっぽろ雪まつり」も応援します！

※「さっぽろ雪まつり」は、平成19年2月6日(火)～12日(休)開催

麻生バスターミナルと「さとらんど会場」を往復するシャトルバスの乗り場を案内するボランティア活動を予定しています。また、雪まつり期間中、地下鉄麻生駅周辺に雪だるまやアイスキャンデルを作り、麻生地区を訪れた人を温かく迎えるイベントも行います。

毎月16日の朝は「あさボラの日」

当初、児童会館に通う子どもたちにボランティア活動の大切さを知ってもらおうと、進めていた「あさボラ(麻生ボランティア)」。この活動をより多くの人たちに呼び掛けるため、連合町内会やまちづくり協議会と連携しながら、麻生地区にゆかりのある「16」という日をシンボルにしてPRを展開中。清掃活動や交通安全運動など、地域ぐるみのボランティア活動を進めています。



窓ふきボランティア

麻生地区にかかわりの深い数字「16」とは…

- ①昭和38年11月16日～市電が麻生まで延長
- ②昭和53年3月16日～地下鉄が麻生まで延長
- ③現在、麻生地区には16の単位町内会